

高校生のための面接練習 (進学編)

1 「面接練習」の意義

- ・高校生が面接練習に取り組む意義は、第1志望の大学や専門学校等に合格するためだけではありません。
- ・自分の将来についてじっくりと考えたり、自分の長所や短所を見つめ直したりするなど、「自分自身を振り返る」大切な機会となるところにあります。
- ・特に大学進学を希望する人は、今年度から始まる「新入試」に向けて不安も多いと思いますが、早めに準備をすることで自信を持って試験に臨むことができるように頑張りましょう。

2 「面接試験」の内容

「面接試験」で聞かれることを大別すると、

- ①志望動機
 - ②高校時代のこと
 - ③入学後の抱負
 - ④自己分析
 - ⑤専門的知識
 - ⑥社会への関心
 - ⑦その他（面接時の態度など）
- となります。

3 「面接」のポイント ①志望動機

- ・「面接試験」において最も大切な項目が、この「①志望動機」です。
- ・まず最初に聞かれることが多いので、しっかりとと言えるように1分程度にまとめておきましょう。「なぜ本校なのか」「なぜこの学部・学科なのか」「なぜ推薦試験で出願したのか」など、詳しく質問されることも予想されます。
- ・志願した大学や専門学校等が「どのような学生を求めているのか」を「学校案内」「HP」で充分理解したうえで対策しておくことが必要です。

3 「面接」のポイント ①志望動機

【プラスポイント】

- ・自分は将来どんなことをしたいのかが明確である。
- ・「授業内容(カリキュラム)」を見て何を学びたいと考えたのかを、はっきりと答えられる。
- ・「先生方の研究や業績」のどこに興味・関心を持ったのか(著作を読むなど)を、述べることができる。
- ・オープンキャンパスに参加したことがある場合、具体的に何が良かったのかを、詳しく答えることができる。

3 「面接」のポイント ①志望動機

【マイナスポイント】

- ・「先生や保護者、先輩に勧められたから」だけでは十分な志望動機であるとは言えません。そこから自分でどのように意志決定したのかを述べましょう。
- ・単に「小学生の時から憧れていたから」ではなく、「どのようにして憧れるようになったのか」までしっかりと説明しよう。
- ・模擬試験での「偏差値」や「合格判定」だけを理由とした表現では、説得力がありません。

3 「面接」のポイント ②高校時代のこと

- ・「②高校時代のこと」は、言い換えると「高校時代に何を頑張ってきたか」ということです。
- ・まず自分の出身高校の説明は簡潔にしましょう。「創立年数、県外受験の場合は所在地、進学希望者の割合、校風・校訓、学校の雰囲気」などです。
- ・ほとんどの受験生は「勉強」「学校行事」「部活動」を挙げます。ただ「頑張りました」と繰り返すだけでは、説得力がありません。できるだけ具体的に答えましょう。

3 「面接」のポイント ②高校時代のこと

【プラスポイント】

・「勉強面では、授業で解らなかつたところはその日のうちに～」、「体育祭では、過去最高の学校行事とするために半年前から～」、「部活動では、部員全員で全国大会出場を目指して～」、のように具体的に考えましょう。

【マイナスポイント】

・「他校の生徒でもその位のことはやっているのでは・・・」と面接官に思われないうように、自分なりの答えを練りましょう。

3 「面接」のポイント ③入学後の抱負

- ・「③入学後の抱負」では、もし合格したら「どんなことを頑張りたいか」「何に挑戦したいか」など、明確で力強く言えるように自分の考えをまとめておくことが大切です。
- ・高校時代に自分が頑張ってきたことを根拠に、進学先での抱負を述べると良いでしょう。
- ・進学先の講義だけでなく、演習・実験・実習についても言及できるように、「学校案内」「HP」をよく読んでおきましょう。

3 「面接」のポイント ③入学後の抱負

【プラスポイント】

・「高校時代に1日も休まずに登校したので、大学でも皆勤できるように頑張りたい」「高校時代にキャプテンをしていたので、専門学校でもリーダーシップを発揮したい」など高校時代の頑張りを継続することは高評価です。

【マイナスポイント】

・「勉強面」ではなく「アルバイトやサークル活動」を優先させすぎた回答はNGです。勉強をするために進学させてもらっていることを忘れずに。

3 「面接」のポイント ④自己分析

- ・「④自己分析」では、「自分の長所や短所」「自分の性格」「常に心がけていること」などが聞かれます。
- ・自分自身を客観的に分析することは、自分が成長していくうえでとても大切なことです。これから「長所」をどのように伸ばし、「短所」をどのようにして克服していくか、具体的に考えてみてください。
- ・「自己PR」を求められることもよくあります。1分間・2分間・3分間など、様々なパターンを準備しておきましょう。時間が余らないように練習しておくことが大切です。

3 「面接」のポイント ④自己分析

【プラスポイント】

- ・例えば、自分の不得意教科を聞かれた場合、「どのように勉強して苦手意識を無くそうと努力してきたか」まで述べるのが大切です。
- ・同様に、自分の短所を聞かれても「私はいつも～するように心がけています」と繋げるとプラスポイントに。

【マイナスポイント】

- ・短所を数多く挙げる必要はありません。また短所が何もないでは自己分析力不足と受け取られてしまいます。

3 「面接」のポイント ⑤専門的知識

- ・「⑤専門的知識」は、主に大学受験の際に聞かれます。AO入試(総合型選抜)、推薦入試(学校推薦型選抜)、国公立大学2次試験(一般選抜における個別選抜)で、それぞれ実施形態(面接時間、個人面接か集団面接かなど)が異なるため、過去の入試データを見て対策しておくことが必要です。
- ・大学によっては試験内容を公表していないこともあるので、高校の進路指導室にある卒業生の「受験報告書」や市販されている「面接試験データ」が役立ちます。

3 「面接」のポイント ⑥社会への関心

- ・「⑥社会への関心」は、主に時事問題をさします。
- ・「最近のニュースで最も関心を持ったことは何ですか」というタイプの質問には、自分の知識が十分なものを取りあげられるように事前準備しておきます。
- ・「環境問題に関する最近のニュースで最も関心を持ったことは何ですか」というタイプの質問には、ここ半年間～1年間のニュースから取りあげられるように事前準備しておきます。テーマごとに新聞記事やネットニュースをまとめるなどしてノートづくりをするとよいでしょう。

3 「面接」のポイント ⑦その他

- ・面接試験では「面接時の態度」も重要な評価項目です。
- ・実際の試験では緊張することが多いので、普段から以下のことに気を付けて高校生活を送りましょう。
- 挨拶（明るく元気に）、言葉遣い（正しい敬語を使う）
- 姿勢（座った時の手の位置・足の向きにも注意）
- 態度（やる気・情熱が相手に伝わるように）
- 表情（笑顔で聴く力・目線は相手の喉元あたり）
- 服装（清潔で端正に・着崩さない）

4 最後に

【大学受験を考えている人へ】

- ・大学が定める「3つのポリシー」が「学校案内」「HP」等に掲載されている場合、しっかりと読んで自分の進路選択の参考にしてください。
- ・①「アドミッション・ポリシー」入学者受入れの方針
- ・②「ディプロマ・ポリシー」卒業認定・学位授与の方針
- ・③「カリキュラム・ポリシー」教育課程編成・実施の方針

4 最後に

【専門学校等の受験を考えている人へ】

- ・専門学校等の「学校案内」「HP」等から、以下のことを読みとって自分の進路選択の参考にしてください。
- ・①「建学精神」創設者がどのような思いで建学されたか
- ・②「教育方針」入学後の具体的な教育が行われるのか
- ・③「資格取得」卒業時にどのような資格が取れるのか

4 最後に

・面接試験では、受験生の資質・能力に関係しないことを面接官は聞いてはならないこととなっています。以下のような「違反質問」をされた場合には、「学校の指導で答えられません」とはっきりと言いましょ。また、そのような場合には、学校の先生に報告してください。

- ・本籍、住所に関する質問
- ・家族構成や職業・地位・収入・資産に関する質問
- ・思想・信条、宗教、尊敬人物、支持政党に関する質問
- ・男女差別につながる質問